



宮崎県

みまた



表紙写真／勝岡小学校5年生議場見学

こんにちは

議会 です。

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

94
2019.2.15

- ・12月定例会(12月5日～12月18日)
- ・町政を問う 一般質問(8名)
- ・議員研修報告
- ・勝岡小学校議場見学

発行／三股町議会



12月定例会 平成30年度一般会計他 補正予算等 可決

12月定例会

町議会では、12月議会を、12月5日から18日までの14日間で開催した。今回の議会に上程された議案は、課設置条例の一部改正等や本年度一般会計補正予算等14議案に報告1件、陳情1件、意見書案1件が上程された。

一般会計補正予算

751万円 増

【主な項目】

- 元号改正に伴うシステム変更委託料
 - 人事院勧告に伴う人件費
 - 特定不妊治療助成金
 - 平成30年度発生災害内ノ木場線道路災害復旧工事
 - 前目児童館フェンス設置工事 他
- ▼全会一致で可決



前目児童館のブロック塀をフェンスへ▲

特別会計補正予算

【主な項目】

- 国民健康保険
 - ・平成26・27年高額医療費共同事業及び保険財政共同安定化事業
 - ・人事院勧告に伴う人件費 他
 - 604万円 増
 - 後期高齢者医療保険
 - ・健康診査委託料
 - ・人事院勧告に伴う人件費 他
 - 47万3千円 減
 - 介護保険
 - ・人事院勧告に伴う人件費
 - 42万8千円 増
 - 梶山地区農業集落排水事業
 - ・人事院勧告に伴う人件費
 - 2万8千円 増
 - 公共下水道事業
 - ・人事院勧告に伴う人件費
 - ・光熱水費(電気料)他
 - 70万3千円 増
- ▼全会一致で可決

条例改正等

- 課設置条例の一部を改正する条例
 - ・企画商工課に「五本松交流拠点施設推進室」を設置。
 - ・業務が肥大化している福祉課を、「福祉課」と「高齢者支援課」に分ける。
 - 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
 - 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - 町長等の給与に関する条例及び議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ▼全会一致で可決
- 財産の取得について
 - ・平成10年度から各部の小型ポンプ積載車に搭載している小型ポンプを、継続事業で更新
- ▼全会一致で可決

条例改正等

●財産の無償譲渡について

清流園の譲渡公募により選定された社会福祉法人スマイリング・パークに、養護老人ホームの建物を無償で譲渡することにより、養護老人ホームの運営を円滑に行い、もって福祉の増進を図る。

▼全会一致で可決

●財産の無償貸付について

清流園の運営を社会福祉法人スマイリング・パークに譲渡するにあたり、養護老人ホームの土地を無償で貸し付けることにより、養護老人ホームの運営を円滑に行い、もって福祉の増進を図る。

▼全会一致で可決

陳情・意見書

●介護従事者を確保するために実効性のある対策を講じることを求める意見書を国に提出することを求める陳情書

▼全会一致で可決

●介護従事者を確保するために実効性のある対策を講じることを求める意見書

▼全会一致で可決

議会特別議決による採決

●三股町養護老人ホーム設置条例を廃止する条例

▼全会一致で可決

※「議会の特別議決に付すべき重要な公の施設に関する条例」第2条に規定する特別多数議決は、可決するには出席議員の3分の2以上の者の同意を必要とし、議長も表決に参加。

〈文教厚生常任委員長報告〉

将来の状況変化に対しても、安全と、継続を約束できる内容であるか、契約書の効力、失効、及び効力順位等を確認しながら慎重に審査した。

その結果、

- ・元町立病院の無残な姿を前に、同じ失敗を繰り返さないこと。
- ・入所者を最優先する事業運営を継続かつ安定的に行う態勢をとること等

民営譲渡後の運営中止の事態を迎えても、「再度、民営譲渡も含め、本町が責任持って、養護老人ホームの運営を継続する。」という町長の決

意を議会において表明することで、本委員会としては、全会一致で可決すべきものと決した。

〈町長〉

将来、様々な事情により、運営が出来なくなった場合は、町が責任を持って養護老人ホームの運営を続けて行くことを約束する。このホームは、環境上の理由や経済的事情により、在宅で生活することが困難な高齢者の受け皿となるセーフティネットとしての機能から町にとって必要な施設だ。廃止という選択は考えてない。また、委員会の提言にあるように現清流園の職員についても、継続雇用を含め協議を行う。



※12月定例会では、全議案が全会一致で可決のため表決結果表を掲載しておりません。

議会を傍聴してみませんか

◎議会の傍聴は町政と議員の活動を知る良い機会です。ぜひ、お気軽にお越し下さい。

11月臨時会

●一般会計補正予算

- ・町立学校空調機設置実施設計業務委託料
- ・耕地災害復旧事業 他

1億742万円 増

●工事請負契約の締結について

- ・中央テニスコート増設本体工事

▼全会一致で可決

7174万円



▲中央テニスコート増設のようす



ここが聞きたい

一般質問とは

議員個人が町の事務の執行の状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

池田 克子議員 …………… 5p 掲載

- ①ヘルプマーク等の周知徹底を。
- ②放課後子ども総合プランの推進状況は。

福田 新一議員 …………… 6p 掲載

- ①清流園の運営はどうなる。
- ②上米公園入口に早急の信号機設置を。
- ③野球を通して交流発展を。
- ④役場に洋式トイレの設置を。
- ⑤多目的スポーツセンターの使用方法は。

森 正太郎議員 …………… 7p 掲載

- ①LGBT発言をどう思うか。
- ②放課後児童クラブの拡充を。
- ③重度心身障がい者医療費助成制度について、現物給付にできないか。
- ④寝たきり老人等介護手当支給サービスの継続は。

重久 邦仁議員 …………… 8p 掲載

- ①衛生センター施設整備付帯意見は。
- ②検討結果は。 ③環境対策は。
- ④施設周辺の景観形成は。

内村 立吉議員 …………… 9p 掲載

- ①給食センターの今後は。
- ②第13回全国学校給食甲子園をどのように受け止められているか。
- ③地産地消の取り組みは。
- ④粗飼料確保のシステム作りは。

楠原 更三議員 …………… 10p 掲載

- ①先人の偉業を学ぶ環境は。
- ②山形県から視察のために来町。
- ③観光地としての長田峡の整備。
- ④史跡の整備。

山中 則夫議員 …………… 11p 掲載

- ①山王原・仲町が発展する対策は。
- ②補助事業の外部評価を行うべき。
- ③町文化会館の隣接地にスポーツ施設を。
- ④職員として意識を向上させる指導は。

新坂 哲雄議員 …………… 12p 掲載

- ①農地取得要件の変更できないか。
- ②買い物弱者販売を考えてはどうか。

12月議会一般質問

池田 克子 議員



質
問

ヘルプマーク等の周知徹底を

福祉課長

町民や各事業者に協力を依頼

問 町民全般にヘルプマークやヘルプカードの意義をどのように周知させているか。

福祉課長 公共施設等に啓発ポスターの掲示をしている。福祉課の窓口や回覧広報で普及に取り組んでいる。

問 ヘルプを求める人は、店や事業所にお願ひされることもある。協力体制はとられているか。

福祉課長 ヘルプを求める人は、店や事業所へは依頼している。今後更に協力を推進していく。

問 町長の福祉のまちづくりとは。

町長 思いやりのある街を目指す。

問 放課後子ども総合プランの推進状況は。

平成27年3月に「子ども子育て支援事業計画」が策定された。その中の「放課後子ども総合プラン」に6項目が盛り込まれている。1項目に「二体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の平成31年度に達成されるべき目標事業量」とある。推進状況は。

福祉課長 一体型として、三股西小・梶山小・長田小の3ヶ所を実施。推

進方策に掲げる3ヶ所の目標は達成されている。

問 一体型とは全ての児童の安全・安心な居場所を確保するため、全ての児童が放課後子ども教室の活動プログラムに参加できると定義している。目標が50%とある。なぜ100%にしなかったのか。

福祉課長 段階的に推進するとして、当初は50%とした。

問 千葉県浦安市は、来年度より一体型を全17校で実施する。国も一体型を中心とした計画的な整備等を進めるとある。国の指針をどのように受け取るか。

町長 次のプランを作成中である。その中で全校100%に向けて取り組んでいく。

問 小学校の余裕教室等の活用は。

福祉課長 適した教室がなく実施できていない。

問 児童クラブや子ども教室への参加に待機児童は何人いるか。

福祉課長 児童クラブに16名いる。

問 早急な対応をすべきでは。

福祉課長 平成31年度に条例の整備等をして、待機児童がないような方策を検討して実施する。

問 児童クラブと子ども教室の実施に係る教育委員会と福祉課との連携に関する方策と運営委員会は設置しているか。

福祉課長 具体的な連携を文書化していないので今後、検討する。

問 児童クラブの開所時間の延長には有料とある。有料への不満もある。他の方法はなにか。

福祉課長 開所時間の延長は、地域の要望に応じるとある。平成31年度に放課後子ども総合プランを見直す時に、残された課題について具体的な方策を立案していく。



福田 新一 議員



質
問

清流園の運営はどうか

町
長

民間譲渡することが妥当

問 清流園が4月より民間譲渡に至る予定。実状と民間譲渡に至る背景は。

町長 養護老人ホームは町にとって必要な施設なので廃止はありえない。「指定管理による運営の継続」と、「直営による運営」は、建物の改修や建替えに対し国、県の補助金は無い。「民間譲渡」については、補助金の面で有利である。

また、専門的な技術と経営ノウハウを有している。
このようなことから、「民間譲渡することが妥当」との結論に至った。

問 施設の建替え費用はどれ位必要か。また民間の場合、補助金はいくら出るのか。

福祉課長 建替えに、約5億円必要。民間における補助金は、一人当たり280万円、280万×入所者50人で、1億4千万円出る。

問 元町立病院の二の舞(土地、建物、構築物、備品全て売買契約)にならないための確固たる内容になっているか。

副町長 契約不履行の時、土地は町へ返還してもらえない状態を確保する為、土地使用貸借契約書において、使用貸借料は無償とした。

上米公園入口に早急の信号機設置を

問 過去5年で7件事故発生。上米公園は、来園者が増加している。信号機の設置条件である、緊急性、必要性に、この交差点は、匹敵する状況ではないか。

総務課長 緊急性があると判断し、平成30年4月にも上米公園入口の信号機設置の要望を都城警察署へ提出している。

野球を通して交流発展を

問 韓国の建国大学が、平成31年から、3年連続、旭ヶ丘運動公園野球場でキャンプ。この関係を、本町とソウル市との友好協力関係へと発展させては。

企画商工課長 本町での合宿を定着化してもらうためにも、関係課と協議しながら必要な整備を行っていく。おもてなしとして歓迎セレモニーの開催も検討したい。野球部員や監督等の関係者との友好関係を育てていき、お互いの特産品や観光地等を紹介し合うことは可能である。



▲建国大学歓迎セレモニー

役場に洋式トイレの設置を

問 役場が、町民にとって親しみやすい場所であるために、社会状況の変化を的確にキャッチする必要がある。各階に男女1個は、洋式トイレの設置を。

総務課長 洋式トイレが一般化している。足腰の悪い方への配慮から、現在、1階と2階の全トイレに洋式トイレが1台ある。平成31年度に、庁舎内の各トイレに1台ずつ洋式トイレを設置する。

多目的スポーツセンターの使用方法は

問 多目的スポーツセンターは、人工芝であるため、雨天時の使用が考えられる。予約の方法はどうか。

教育課長 雨天時の予約申請は、利用する前の週の金曜日、13時～17時。貸出期間は、翌週の月曜日～日曜日。1団体で1週間に3日が限度、利用時間は、平日2時間、土曜、日曜、祝日は3時間が限度。



森 正太郎 議員

質問

※ LGBT 発言をどう思うか

町長

差別と偏見に満ちた発言と思う

問 国会議員の「LGBT（性的少数者）は生産性がない」旨の発言をどう受け止めたか。

町長 本町でも、性的少数者に対する理解を深める講演会等を実施した。国会議員の発言は、生産性のない人間には人間としての価値がないと言っていることと等しく、社会的弱者への配慮に欠けた暴言で、差別と偏見に満ちた不適切極まりない発言だと思う。

問 LGBT関連施策の現状と今後の展開は。（多目的トイレの増設、トイレの表記の工夫、相談窓口の設置など）

総務課長 男女共同参画週間に合わせ、啓発活動を行ったほか、県知事選挙では男女別受付を廃止する。今後はまずは職員研修が必要との考えから、平成31年度研修会を行う予定。相談窓口としては、月一回二股駅ホールで実施している人権擁護委員による相談所を活用していただきたい。

問 性的少数者のほとんどが中学校入学前までに性に違和感をもつといわれているが、小学校でのLGBT教育は行わないか。

教育長 職員向けには人権感覚を磨く研修を行っている。子どもたちについては、総合的な人権教育は行っているが、具体的にLGBTに特化

した授業は行っていない。

※LGBTとは…

①身体の性別、②心の性別、③性的指向の組み合わせの名称の頭文字をとったもの。

L : Lesbian (レズビアン) 身体と心の性別は女性で、性的指向も女性である人

G : Gay (ゲイ) 身体と心の性別は男性で、性的指向も男性である人

B : Bisexual (バイセクシュアル) 身体と心の性別を問わず、性的指向が両性である人

T : Transgender (トランスジェンダー) 身体の性別と心の性別が一致しない人

放課後児童クラブの拡充を

問 待機児童の有無は。

福祉課長 3年生が16名。

問 高学年の潜在的な待機児童は含まれていない。現在梶山・長田児童クラブでは6年生まで受け入れているが、他の児童クラブで高学年の受け入れは行わないか。

福祉課長 社会福祉法人への委託も検討し、来年度以降、体制を整備していく予定。

問 町長所信表明にある「クラブの民間開設の支援」の具体的な内容は。

町長 人材に対する補助金等の支援等が国からも示されているので、活用したい。

問 重度心身障がい者医療費助成制度について、現物給付にできないか

福祉課長 現在3か月後の償還払いになっており、負担が大きいという声があるが

福祉課長 町単独では難しいが、1月に、町村会と市長会合同で県に要望書を提出する予定になっている。

問 寝たきり老人等介護手当支給サービスの継続は

問 寝たきりの高齢者等を在宅で介護される家族に月額1万5千円を支給する介護手当が、介護保険からはずされ、一般会計で措置されることになったが、来年度以降もサービスを継続するか。

福祉課長 実施していく予定。



重久 邦仁 議員

質
問

衛生センター施設整備付帯意見は

町
長

検討した



検討結果は

問 衛生センター施設整備について付帯意見書の検討、結果は。

町長 平成29年7月から9月にかけて、衛生センター施設整備検討委員会が検討し、「施設の建設場所は、中央浄化センターを第一候補とするが付帯意見を考慮して決定すること」、「付帯意見として「建設場所について、地元住民の理解が得られるよう、十分な説明を行っていただきたい」との答申があった。

地元への説明会は、平成30年2月22日に今市児童館、2月25日には第7地区分館にて開催し、その中で「類似施設の視察を計画して欲しい」との要望を受け、7月2日に三股中央浄化センターと都市清浄館の視察を行った。今後も説明会等を開催し、建設場所について地元住民に理解を求めていく。

環境対策は

問 現在の衛生センターでは汚泥を焼却処理しているが、臭気への対策は。

環境水道課長 現在汚泥の最終処理は焼却処理しているが、施設が古く焼却処理時に近隣を通行する住民から、時々臭いがすると連絡があった。新しく建設する施設には、焼却施設のない設備を計画したい。

問 建設後の臭気対策は。

環境水道課長 現状と建設後に同様の環境調査を行って、その変化を把握し、臭気について十分な対策を講じる。また、敷地内の残地を公園等に活用することで、常に住民による臭気の監視ができる。

問 汚泥の運搬ルートは。

環境水道課長 地元説明会において住民からも意見があり、現状のルートを原則とし可能な限り今市地区内を回避するルートを計画したい。

施設周辺の景観形成は

問 今市橋周辺は雑草が繁茂し、都市の河川整備状況と対比されるが、川辺周辺の環境整備事業の取り組みは。

都市整備課長 今市橋下流右岸の一部は、県の事業で整備されている。以前は地区の住民がグラウンドゴルフに利用していた時期があるが、河川は県の管理区域であり、現在は町から県へ整備の要望はしていない。

また、河川敷の芝生広場の整備は、管理者である都城土木事務所と河川占用の協議により許可を受け、町の事業として整備すると説明を受けた。河川の堤防にある管理道路は、日



▲今市橋周辺

頃よりウォーキングをする住民も多く、現在は路肩部分の草刈りを実施しており、今後も継続していく。

内村 立吉 議員



質
問

給食センターの今後は

教育課長

改修のめどは立っていない

問

給食センターは、運営を開始して27年経過している。対応策は検討しているのか。

教育課長

計画では2021年大規模改修を行い2051年建替えることになっているが、多額の費用が必要な為、具体的な改修のめどは立っていない。

町長 給食センターの施設は、体育館形式であり、大規模改修ができると思っているが、今後、検討をしていきたい。

問

五本松団地跡地と給食センターは隣接しているが、併用して考えることはできないか。

町長 五本松団地跡地と給食センターは別に取り組みたい。

問

給食センターの敷地面積、給食数、金額について。

教育課長 敷地面積約4500㎡、1日の給食数約2900食、年間給食日数小学校194日、中学校190日、給食単価小学校約232円、中学校約266円である。



第13回全国学校給食甲子園をどのように受け止められているか

問

給食の献立が県代表として参加し上位入賞したが感想は。

町長

県内113件の応募の中で選ばれ、九州、沖縄ブロックで上位4枠というのは大変誇らしく、職員の励みになる。

教育課長 調理の現場を含め、励みになり喜んでいる。



「全国学校給食甲子園」入賞献立

地産地消の取り組みは

問

地元の食材を使った献立の考案や、今後の地産地消の取り組み、教育委員会が力添えをしていただきたい。

教育課長

毎月、地産地消ウィークを設けて、県内産の食材を積極的に使用している。今後も、郷土料理など伝統的な食文化を継承した献立の導入を推進していきたい。

粗飼料確保のシステム作りは

問

小規模な畜産農家が粗飼料確保ができるよう、大規模農家と連携ができるシステム作りはできないか。

農業振興課長

高齡化対策、担い手育成、新規就農者支援の一環として、粗飼料の生産確保に係る作業の共同性、外部委託化について、関係機関と検討を進めている。

問

第10回宮崎県肉畜共進会、肉牛枝肉について。

農業振興課長

県内100頭出品で4等級以上99.9%、*B・M・S平均9.5平均単価3510円枝肉平均価格1844千円であり、質量とも充実した結果であり、全国に宮崎牛が定着したことを示したと思われる。

*B・M・Sとは…

脂肪交雑の度合いを12段階で数値化したもの。8段階以上は5等級。

楠原 更三議員



質問

先人の偉業を学ぶ環境は

教育長

大きな事業としては町史編さん

問

町民憲章にある先人の偉業や開拓精神とは何かを具体的に感じ取れるようになってはじめて、三股らしい郷土愛が育つと思う。そのため環境整備がどのように行われてきているか。

教育長 町史編さん事業が大きな環境整備である。今後は、史跡の整備を含め関係課による検討を進めていきたい。

問

三股の生い立ちを周知するなどの環境整備は現状で十分であるか。

教育長 それについて検証は行っていない。満足度については各人の価値観の違いがあるが、検討しないといけない課題はある。これについても関係課との連携を含めた検討会を考えていきたい。

山形県から視察のために来町

問

11月中旬に山形県町村会の7つの町の町長が来町されたが受け入れた感想は。視察目的を今後の交流へ活かす思いはないか。

町長 人口増を続けている本町のまちづくりについての関心と初代山形県令の三島通庸公との縁ということ

が視察目的であった。遠方からの来町は有難い。子ども達の交流については教育委員会で検討していきたい。

問

本町には三島公の足跡が史料として確認されていないということであるが、今回の視察は大きな外部評価を得たことになる。今後の交流に活かす考えは。

教育長 これまで実施した沖永良部島への派遣事業の追跡調査をして、今後検討していきたい。

観光地としての長田峡の整備

問

長田峡を長田渓谷という連続性のある観光地として捉えるためにも、その成因を説明した看板を設置し、今後の開発につなげてはどうか。

企画商工課長 観光地に対して壮大なストーリーを付加することは、観光資源として生かしていく上で重要な事である。今後調査を重ね、効果等の検証をした上で検討したい。

問

長田峡の魅力を引き出す一つの方法として今後、季節ごとのライトアップは考えられないか。

都市整備課長 今回は県が行っている社会実験として実施した。使用した機材が高価であるため、季節ごとの実施予定はない。今後については、機材のリースが可能かどうか県に相談している所である。

史跡の整備

問

早馬公園の石灯籠(西南戦争の慰霊碑)が倒れている。史跡として古くからある石碑や石灯籠の点検・修理等が必要ではないか。

教育課長 史跡として指定してあるものについては、点検したい。公園等にあるものについては、関係課と協議していきたい。



倒れている早馬公園の石灯籠

問

昨年同様の梶山城跡は行えないか。

都市整備課長 本丸周辺については、今年度も草刈りなどの維持管理を行う事としている。現在施工業者と時期について調整している。



山中 則夫議員

質問

山王原・仲町が発展する対策は

町長

空き店舗等の有効活用を図る

企画商工課長

現在、町民代表者・

問

これから益々、厳しい財政運営が続くと思われる。今こそ各事業・イベント等が必要なのかどうか、完全な第三者を入れた外部評価制度が必要ではないか。

補助事業の外部評価を行なつべき

教育課長 校舎も古くなっており、子ども達を広々とした場所で、教育することは、素晴らしい意見だ。今後、ご意見等を聞き、検討したい。
町長 今の校区は残したいが、遠い将来、学校の再編成も考えていかなければならない。

問

大胆な発想であるが、将来のために、三股小学校を文化会館の南側の広い場所に移転させてはどうか。

問

町の中心市街地であった第一地区(山王原・仲町)が以前より寂しい地域になってきているが、何か有効な対策・政策はないか。

町長 この中心市街地の活性化はまちづくりの主要課題だ。現在「空き店舗活用等商業支援地域活性化事業補助金」を創設して、店舗等の有効活用を図っている。

町長

文化会館の南側も魅力ある場

問

本町がスポーツの町を発信するためにも、また子ども健全育成を推進する点でも、是非、スポーツ施設の充実をはかってもらいたい。

教育課長 スポーツ関係団体から現在、要望も無い。現時点では計画はない。

問

スポーツ少年団の練習場確保やアスリートタウン三股を内外に発信する為にも、文化会館の隣接地にスポーツ施設を建設しては。

町文化会館の隣接地にスポーツ施設を

企画商工課長 内部だけでなく外部の人が感じた意見も大変重要なので今後行うかどうか考えていきたい。

問

外部評価導入はその事業の実態を町民に公表し、同時に町職員の意識付けにもなると思うが。

外部有識者で「地方創生推進会議」を設置して、審議・検討している。現在は完全な外部評価制度導入は考えていない。

所だが、現在旭ヶ丘運動公園やテニスコートの整備を行っている。五本松団地跡地の活用がみえてくると今後どうすべきか、考えていきたい。



▲文化会館南側

問

職員は行政の専門家として町民から信頼される、良い意味で町民の指導的立場が要求されるが、そのための指導をどう行っているのか。

職員として意識を向上させる指導は

総務課長 人材育成のため町民から信頼され、協調のもと目標達成できる、そして、自ら考え行動し、挑戦し続ける職員像を目指して、各種、研修・指導に取り組んでいる。

新坂 哲雄 議員



質
問

※農地取得要件の変更できないか

町
長

農林水産省省令で定める基準

問
遊休農地の解消の為、農地取得要件50aを30aに緩和変更できないか。

農振課長 条件、あるいは例外により下限面積の緩和措置は可能だが、一概に下限面積の緩和が遊休農地の解消に繋がるとは言えないと考える。

※農地取得要件：

農地法第3条では、農地の売買等に対する許可の基準のひとつに農地取得後の経営面積の下限面積を都道府県50a以上、北海道200a以上になることと定められています。

問
買い物弱者販売を考えるとどうか

企画商工課長 現在民間の事業ではあるが、稗田の衣料品店が、交通弱者等の住民を支援しようと、長田方面を対象に同店まで無料送迎を定期的に行っており、また、これに加えて今年度から蓼池の介護事業所が、社会福祉協議会からの補助を受けて、蓼池方面、新馬場方面、宮村方面から稗田までの送迎といった買い物支援を開始している。

市町村議会議員研修報告

日時：平成30年11月5日～6日
場所：滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所
議題：「議会改革を考える」
参加者：楠原更三議員・福田新一議員・重久邦仁議員



▲全国市町村国際文化研修所にて

「自治体の事は、議会が決めて」

「No1」

この当然のことを、改めて、認識できた研修となりました。そのためには、「町民に開かれた議会を目指し」「町民の多様な意見を的確に把握し、町政に反映させるための運営に努める」など、議会のことがあまり知られないといわれる方が少なくなる努力が必要です。

2000年に地方分権一括法が成立し、地方分権のあり方が整いました。議会が「議会基本条例」

を制定し、それを着実に履行しているかどうか新たな地方議会のあり方の目安であるといわれています。

本町議会では、できることから早速取り組み始めています。まずは、町のホームページで議会を探索しやすくしました。その他にも、開かれた議会を目指しての今までの努力をしています。



ここからホームページを検索できます

文教厚生常任委員会視察研修報告



日程：平成30年11月7日～11月9日

参加者：文教厚生常任委員6名、事務局1名（計7名）

研修① 福井県

研修場所：永平寺町立永平寺中学校

研修項目：学力向上の実践的な取り組み

「あたりまえのことを、ひたむきに」



掃除の時間は黙想正座で集中



体育館も雑巾がけします

三股町児童生徒憲章は、永平寺町を手本に作られました。また、毎年全国学力テストで上位にある福井県。手本となる現地を訪ね、本町と何が違うか、自ら肌で感じ取り、本町に反映させよう、というのが研修の目的です。

校長室に入るなり、「私たちは、礼の心を基本に、あたりまえのことをひたむきに、取り組んでいる。この3年間で礼の心を見つければ良い。」と、言われました。校門での礼、授業始めの黙想、無言清掃等を見学させて頂きました。

特に徹底した無言清掃の姿は、人間形成の基本そのものであると思いました。学力向上の基は、礼の心に繋がると感じました。

掃除の時間は「創自の時間」
としての教育活動

研修② 奈良県

研修場所：生駒市役所

研修項目：介護予防の先進的な取り組み

「高齢者の可能性は、無限大」



介護予防事業の先進地として、生駒市を訪ねました。人口約12万人。高齢化率27.1%（65歳以上人口が総人口に占める割合）、要介護認定率は、平成30年度14.2%と年々低減しています。

高齢者の可能性は無限大！と、要支援の方が、要介護の方のサポートをすることにより、自分の生活において、自立を取り戻す事例は、一挙両得の成果であると感じました。スペシャリストを中心に粘り強い現場探求を基本に、活動的に継続された施策の数々が見られました。

皆さん。ここが議場です！



するどい
質問が出ました！



金曜日の朝見学をさせていただきありがとうございました。三股町の人口や議場のこと、働いている人のことなどの色々なことを教えてくださりありがとうございました。

このことから、役場で働いている人々は大変だけど人々のことを思って働いていると思いました。これからもがんばってください。

この前は、おいそがしい中、議場など色々な場所につれていってくださって、ありがとうございました。ぼくが、一番印象に残ったのはやっぱり議場でした。役場にこんなにすごい所があるのは初めてでした。家に帰り親たちにしおりの写真を見せると、「すごいね!!今度行きたいね。」と言いました。大人になったらぼくも投票したいです。ありがとうございました。



お話を聞かせていただいたり、議場に入らせていただいたりしてありがとうございました。議場に入れていただくことはすごいことだなと思いました。そのことをお母さんに言ったら「すごいね。」と言っていました。いい思い出になりました。これからもがんばってください。

遠足の時は、役場の中を見学させていただきありがとうございました。役場の人にいろんなことを聞かせてもらいました。町長室や議場などがあって役場にはこういうものもあるんだなと思いました。議場で議長席にすわったとき、きんちょうしました。でも、こんな経験はないのでうれしかったです。ありがとうございました。

他にもたくさん感想ありがとうございました！

勝岡小学校5年生の



みんなで
氏名標を立てます!

5年生の感想です



わたしは、議員席にすわりました。議長席が目の前でとてもすごい場所でした。18才以上になったら、ぜったい投票しにいきます。

最初は、ぼうちょう席があったので、法ていかなと思いました。話すところも録音すると聞いたので、すごいなあと思いました。

議場の中に入れたことを親に言ったら「すごいね!」と言われたので議場に入れたことがめずらしいんだなと思いました。ありがとうございました。

金曜日はいろんな場所を見学させていただいてありがとうございました。町長さんたちが話し合いをしている中おじゃまさせていただき、その中で、三股の始まりを知り、親にも伝えたいなりました。役場を造ってから45年~47年たっていることも知り、すごいなと思いました。また行きたいです。

議場の中は広くて、いすのならばにも特長がありました。話し合いをするなかで1人1人が積極的にしなければいけないことが分かりました。

ぼくは、一番すごいと思ったことは議場です。始めや終わりに立て札を立てたり下げたりすることです。他にも、町長さんの部屋に町長をしてきた方の顔写真がたくさんあってすごいと思いました。あとは、停電したときにも電気が使えることにおどろきました。





三股中学校部活紹介

女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は、3年生7名、2年生7名、1年生8名の計22名で活動しています。「コートの中に生活あり、生活の中に勝負あり!!」をモットーに、まずは人間力の向上を目指し鍛錬しています。

夏の中体連では県大会2位、九州大会2回戦敗退でしたが、秋季県大会では優勝することができました。今は3月に宮崎で行われる九州大会優勝を目指しています。2019年は「挑戦」をテーマに掲げ、身長が小さいこと以外では負けないチーム作りにもけて頑張っています。



駅伝部

駅伝部は3年生11名、2年生8名、1年生9名の計28名で、顧問の福本優先生、副顧問の米田透先生、コーチの横山邦泰先生のご指導のもと、日々練習に励んでいます。河川広場をメイン練習場としていますが、三股町は練習環境にも恵まれており、上米公園や旭ヶ丘運動公園、また、近くの山や林道など、自然の中で楽しみながら自分を鍛えています。

地区駅伝では地元三股町の方々の応援のおかげで男女アベック優勝をすることができました。しかし、1年間で1番の目標としている宮崎県中学校駅伝競走大会では男子2位、女子3位と悔しい結果となってしまいました。今後は、今年果たすことができなかった県駅伝優勝、そして全国大会出場という目標に向けて、チーム一丸となって頑張っていきます。これからも応援よろしくお願ひします。



議会広報編集常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 福永 廣文 |
| 副委員長 | 楠原 更三 |
| 委員 | 山中 則夫 |
| 委員 | 指宿 秋廣 |



編集後記

新年明けましておめでとうございませう。昨年も「こんにちはは議会です」をご愛読いただきましてありがとうございます。「二年の計は元日にあり」使い古された言葉ではありますが、この大事な区切りの時に新年の計画を立ててみることは大変重要なことではないでしょうか。

さて今年も一月五日に本町の成人式が盛大に厳粛に行われました。エネルギーシユな若者が自分達のふるさとを心から愛している姿をみて感動し、本町の明るい未来を強く感じました。

我々議員としても更なる町民の幸せを「町政は町民の為にある」を肝に銘じて誠心誠意、町政の諸課題に取り組んでいかなければならないと痛感しました。今年も読みやすい、わかりやすい議会だよりを目指して努力して参ります。

(山中)